学校番号	111

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	国語総合 改訂版　現代文編・国語総合 改訂版 古典編(大修館書店)						
副教材等	「意味から習得音訓別重要頻出漢字リアルマスター３３００」（尚文出版） 「改訂増補版　最新国語便覧」（浜島書店） 「新精選古典文法改訂版」（東京書籍） 「現代文　解法のテクニック１基礎編」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ

・国語では、言語に関わる「読む」「書く」「聞く」「話す」力を伸ばしましょう。
・様々な文章を幅広く読み、その内容を理解して、要約する力をつけましょう。
・また、他者に敬意を払い、他者の話を良く聞くとともに、正しく意思を伝え合うために、どのように話せば効果的なのかを考え、コミュニケーション力を高めましょう。
・古典の分野では様々な作品に触れ、昔の人の心情・考え方や文化を知り、現代のそれらと比較・考察しましょう。そのためにも、基本的な文法・語彙力の向上を目指しましょう。
・授業を真剣に聞くことで「聞く」力は伸びます。特に私語は他人の迷惑ともなるので厳禁です。また、様々な提出物については必ず期限を守って提出するようにしましょう。
・小テストの実施については、予告をします。定期テストと同様に、計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

・文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり要約・詳細をまとめたりすることができる。
・目的や場に応じて、効果的に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりできる。
・目的や場に応じて、効果的に文章表現ができ、自分の考えを示すことができる。
・文章に描かれた人物の心情や情景などを表現に即して読み味わうことができる。
・伝統的な言語文化に興味・関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す･聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	教材に興味を持って意欲的に学習に取り組み、様々なものの見方・考え方に触れて、国語を尊重しその向上を図ろうとする。	他人の話を良く聞き、目的や場に応じて効果的な表現を考えている。文章の構成や論旨の展開を把握し、自分の考えをまとめている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書く。文章の構成や論旨の展開を把握し、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取っている。目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	語句の意味、漢字、古語、言葉のきまりなどについて正しく理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ノート、プリント、原稿用紙等）	行動の観察及び分析（プリント等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	・「近代」「自由」「主体」など、評論を読み解くための基本概念を理解しつつ、これから生活する集団生活の中で、「聴く」ことと「尋ねる」ことの大切さを学ぶ。 教材「自由な主体に必要な『尋ねあい』」	○	○	○	◎	○	a:「聴くこと」「尋ねあい」の本質に関心を持とうとしている。 b:相手の話を聞き、言葉を返している。 c：実際の自分たちの言葉のやり取りをわかりやすくまとめている。 d：「自由な主体」に対する筆者の主張を読み取っている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察 b:行動の観察 c:記述の確認 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	評論	・比較文化論の文章の進め方の特徴を掴む。日本文化に対して関心をもつ。 教材「水の東西」	○		○	◎	○	a：文章を通して日本の文化や伝統に対する関心や理解を深めようとしている。 c:文章を読んで気づいたことや、自分の意見を、わかりやすく話している。 d：日本と西洋のものの見方や考え方を比較しながら明らかにしていることを、理解している。各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察 c:観察 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	小説	・段落ごとの登場人物の心情の変化を読み取る。その際、優れた文章表現効果を確かめる。また小説に描かれた人間性についての考えを深める。 教材「羅生門」	○			◎	○	a：作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 d：作品世界の舞台を理解している。登場人物の行動の背後にある論理を読み取り、人間の自我について考えている。 e：語句の意味を正しく理解している。作者や日本近代文学についての理解を深めている。	a:観察 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	古文入門・説話	・古文を学ぶ方法や意義を理解し、そのための基本知識を確認する。 教材「児のそら寝」	○			○	◎	a:古文学習を通して昔の人の行動・考えを意欲的に理解しようとしている。 d:古文の言葉に慣れ、正しく音読している。 e:古文を読むために必要な歴史的仮名遣いを理解している	a:観察 d:観察・音読の確認 e:記述の点検・確認

	物語・随筆	・繰り返し音読することで歴史的仮名遣いに慣れる。古文に親しみ、的確に内容を読み取る。 教材『竹取物語』 『伊勢物語』『徒然草』	○		○	◎	○	a:教材に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 C:物語では登場人物の心情を、随筆では筆者の感性を読み取り、自分の考えを文章にしている。 d:脚注や副読本の資料を参照しながら、内容を把握している。 e:古文は古い時代の日本語で書かれていることを理解しており、語彙力を高めようとする意欲が見られる。	a:観察 c:記述の確認 d:観察・記述の確認 e:記述の確認 定期考査
2学期	詩	・詩に親しみ、形式や表現の特色を理解する。作品を味わい、生まれることの意味を考える。 教材「甃のうへ」「一つのメルヘン」	○		○	◎	○	a：作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 C:詩を読み、その心象風景を読み取り、自分の感想を文章にしている。 d：表現上の特色とその効果について理解している。 e：詩の形式や表現の特色を理解している。作者についての理解を深めている。	a:観察 c:記述の確認 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	評論	・筆者が指摘する、グローバリズムの本質と問題点をグローバル化との違いから読み取り、今後の在り方を考える。 教材「グローバル化とグローバリズム」	○		○	◎	○	a：「グローバル」という言葉に関心を持ち意欲的に取り組んでいる。 c：現代のグローバル化社会に対する自分の考えを文章にしている。 d：各段落の要旨をつかみ、全体の構成を理解している。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察 c:記述の確認 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	小説	・親しみのある作家の小説を読み、設定や場面ごとに変化する主人公の心理状態を読み取る。「鏡」が象徴する恐怖について考える。 教材「鏡」	○			◎	○	a：作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d：作品の設定を理解している。ホストである主人公が自分の体験談を最後に持ってきた意味について考えを深めている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査

	物語・日記	・軍記物語、日記について親しみ、理解を深める。 教材『平家物語』『土佐日記』	○			◎	○	a:教材に興味を持って取り組んでいる。登場人物の心情や置かれている状況について考えようとしている。 d:本文の構成を把握し、内容を理解している。音読によって、軍記物語の文体的特徴を体感している。 e:重要古語や文法、和歌の修辞技巧や音便などについて理解している。	a:観察 d:観察・記述の確認 e:記述の確認 小テスト 定期考査
3学期	短歌	・自分の短歌が英訳された経験をもとに、あらためて、日本語や短歌に込められた思い、さらには日本文化の特徴について、平易に語られた文章を読み味わう。 教材短歌を訳す」	○	○	○	◎	○	a：短歌にを身近に感じ、その英訳に興味もって取り組んでいる。 b:自分なりの訳を考え発表する。 c：それぞれの短歌に対する鑑賞文が書けている。 d：それぞれの短歌にうたわれている情景や心情を読み取っている。 e:それぞれの短歌の作者や作風、時代背景についての理解を深めている。作品の用語・修辞技巧などの知識を理解している。	a:観察 b:行動の観察 c:記述の確認 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	小説	・長崎の原爆投下から三十二年後、友とともに小学校で行われる追悼式に出席した主人公。式に出席する現在の子供と当時が交錯する描写を読み味わいながら友への謝罪をする主人公の気持ちを考える。 教材「友よ」	○			◎	○	a：作品や時代背景に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 d：現在と当時が交錯している描写に着目し、主人公の友への思いに注意しながら、その心情を読み取る e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:観察 d:観察・定期考査 e:観察・定期考査
	漢文入門	漢文に親しみ、学ぶ意義を理解する。 教材「漢文とは」	○			○	◎	a:漢字や漢文に対する興味・関心を持って取り組んでいる。 d:例文の内容を理解している。正しく書き下し、音読できている。 e:訓読や書き下し文のきまりについて理解している。漢語の由来や日本と中国での意味の違い等について理解している。	a:観察 d:観察・記述の確認 e:記述の確認 ノート等の提出 小テスト 定期考査

3学期	故事成語	漢文に親しむとともに、ものの見方や考え方を広める。 現在使われている故事成語の由来と意味を理解する。 教材「漁父之利」「朝三暮四」「蛇足」	○			◎	○	a:教材に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。故事成語への理解を深めようとしている。 d:本文を正しく読み、書き下し文にしている。故事成語の意味について理解している。 e:訓読の決まりを理解している。句法や助字を理解している。それぞれの詩の作者について理解している。	a:観察 d:観察・記述の確認 e:記述の確認 ノート等の提出 小テスト 定期考査

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。